

『SEED 総合英語 [四訂新版]』



兵庫県立姫路西高等学校元教諭 岡憲一

本書の誕生と特徴

本書の前身『シグマ基礎総合英語』は、当時の参考書の内容が難しく高校生には難解であって、参考書はいわゆるツンドクの憂き目にあったことが誕生の背景にある。学習の友としての存在が望まれたなかで、高校生が自学自習できる、読むだけで理解できる参考書として生まれた。好評を得て20数年高校生に愛用された。2003年にはすべての高校生が利用できる『SEED 総合英語』として生まれ変わった。大判になり、読み易いもの、初歩から高度な英文まで読めるように質的改善を行い、この1冊で英文理解に必要なことはすべて網羅されている参考書に成長した。その後、時代の要請に応じて何回か改定され、今回は指導要領の趣旨を生かした『SEED 総合英語 [四訂新版]』として世に出すこととなった。以下のことを満たす内容にすることを順守した。①高校3年間で学ぶ文法事項は完全に網羅すること。②授業や受験勉強で疑問に思うことに答えること。③各章の導入において興味が湧き、その章での概念がつかめること。④さまざまなコラムで英語の関心が深まるもの。⑤文法のみならず発音や難解な綴り字が知らず知らずのうちに身に着くように随所に散りばめること。⑥音声面を充実させ、CDやインターネットからのダウンロードで利用できること。⑦英語発信力、表現力を高める内容にすること。

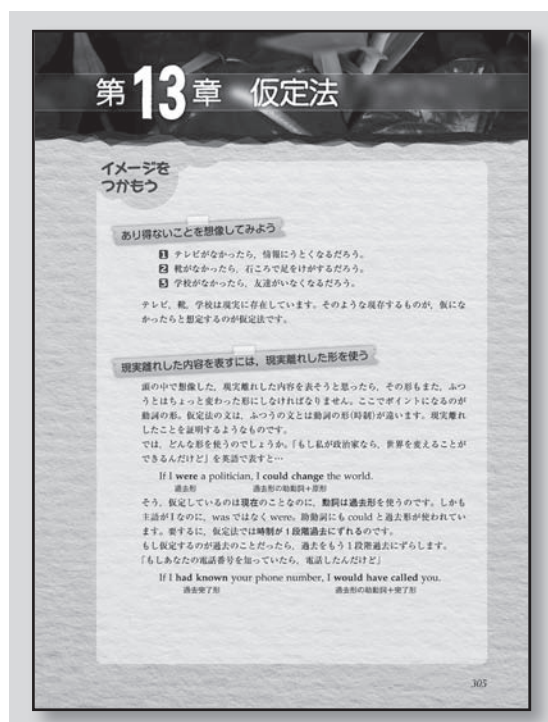
当初の趣旨を生かして、『SEED 総合英語』は高校生が自室で自学自習できるように特に配慮した。

1 学習の目的と内容を最初に明確にする

本書は文法内容から23章に区分けしている。各

章は必ず「イメージをつかもう」から始まり、何を学ぶかを理解させる。「日本語にも仮定法はあるか」と生徒に質問を受けたことがある。日本語にも仮定表現はあるが、仮定法とは言わない。仮定法とは仮定の表現をするときの動詞の形のことであり、日本語では仮定表現も直説表現も動詞の形は変わらない。もちろん私たちはそれでも不都合は感じない。この日本語と英語の違いを最初に感知させる。仮定法を例に挙げて導入部を紹介したい(資料①)。

2 『SEED 総合英語』は高校生の学ぶ英文法のすべてを網羅している



資料① 仮定法

本書は 555 の見出し例文があり、その例文にすべての文法事項が含まれている。すべてを紹介することは不可能であるので、ここでは一例として助動詞に限定させていただく。

- 81 Can you drive a car? — Yes, I can.
 82 Can I sit here? — Yes, please do.
 83 Can this story be true? — No, it can't be true.
 84 I could swim when I was a child.
 85 Could I ask your name?
 86 May I use your pen?
 87 It may [might] rain tomorrow.
 88 You must speak louder.
 89 You must not drive fast. You are a new driver.
 90 His father must be over fifty.
 91 He won't listen to us.
 92 That day shall come.
 93 Will you take me to the concert? — Sure.
 94 Shall I open the window? — Yes, please do.
 95 Shall we dance? — Yes, let's.
 96 My father would often take a walk early in the morning.
 97 She would not answer my question.
 98 He used to go dancing on weekends.
 99 There used to be a big tree here.
 100 You should see that movie.
 101 You ought to do your duty.
 102 You had better start at once.
 103 She had better not buy the camera.
 104 It is natural that he should feel angry.
 105 It is necessary that we should prepare food.
 106 He suggested to her that she should change the plan.
 107 You need not buy a new bag.
 108 How dare you say such a thing!
 109 You may well be proud of your son.
 110 I would like to drink some apple juice.

- 111 Someone must have told her about it.
 112 It may have snowed there last night.
 113 Tom cannot have visited his aunt.
 114 I missed the train. I should [ought to] have come earlier.
 115 You need not have come so early.

少し紙面を取りすぎたかもしれないが、これで助動詞に含まれる文法事項はすべて網羅したことを例示した。穴がないことを確認したかったがいかがだろうか。また他の章においての例文の難易度がこれであることを紹介した。内容説明は極力噛み砕いて、丁寧にわかり易くをモットーとしている。さながら授業のように具体的に説明を施した。

3 例文は高校生になじみ深い内容

上記助動詞の例文のように、平易な文に限定した。しかし日頃授業などでよく使う例文にするのか、目新しい例文にするのか、時々迷う。その是非について読者の意見を聞きたいものである。どちらにせよ学習者には初めてであり、理解が容易であれば問題はな

The image shows a page from a textbook titled "can". It features several example sentences and a detailed explanation of the verb's usage. The examples include: "Can you drive?", "Can I sit here?", "Can this story be true?", "I can see you at two this afternoon.", "You are able to swim.", and "I was unable to swim." The explanation section, titled "Point 1 can は能力・可能を表す", discusses the difference between "can" and "be able to", and provides a practice question: "Can you speak English? は聞けたほうがよい? Do you speak English? がよく聞かれる." The page also includes a small note about the word "this afternoon" and a footer with the page number 39.

資料② 助動詞 can の見出し例文

いのだからと割り切って著者の判断で選択した。

新版『SEED 総合英語』の例文

A bat is no more a bird than a rat is. (p. 242)

従来の例文

A whale is no more a fish than a horse is.

新版『SEED 総合英語』の例文

They never meet without quarreling. (p. 355)

従来の例文

I wish I were a bird.

4 日常普通に用いられる言葉遣いを採用

従来中学校で学んだいわゆる学校文法は英語理解にそれなりの役割を果たし、否定するものではないが、現在日常生活からかけ離れたものは現代口語表現を案内している。

She likes music as much as me [I do]. (日常使用)
(p. 227)

She likes music as much as I. (文語)

It wasn't me [I] that [who] broke the vase.

一文法的には主格だがよく目的語が口語では用いられる。(p. 361)

You are an even better swimmer than him [he is]. 一口語は目的語。(p. 230)

Although it may sound strange, I have an uncle who is younger than me [I am]. (p. 300)

He told the news to whoever he met. (p. 275)

5 コラム

(1) ふきだしの利用

興味付けの一環としてふきだし注釈を利用した。英語独特のつづりと発音関係を少しずつ織り交ぜた。語源や派生語などにも利用した。

例)

① office, service, face, ice : ce を [s] と発音 (p. 218)

② birthday : ir を [ɔ:r] と発音 (p. 339)

③ stay [steɪ] : day, way, say (p. 198)

④ stew [stju:] : new, few (p. 269)

⑤ daughter : gh は読まない (p. 264)

⑥ respect : -re「振り返る」+ spect「見る」(p. 271)

⑦ discourage : -dis「奪う」+ courage「勇気づける」(p. 376)

(2) ギモンのタネ

授業中によく出る質問や英作文でよく見かける間違いやすいものを取り上げている。

例)

① I was stolen my bicycle.

→ I had my bicycle stolen. (p. 145)

② make / let / have の使い分け (p. 167)

③ go to the school は本当に使えないのか (p. 410)

④ I made less [fewer] mistakes on the English exams than Ken.

less はミスではなく使用可能になっている。(p. 231)

⑤ He looked at him in the mirror. と

He looked at himself in the mirror.

2つの文は意味が全然異なる。(p. 423)

(3) 読解 BOX

語順、修飾語、表現方法で誤解されやすい文について具体例を挙げて意味の取り方を述べる(資料③)。

(4) What Do You Say? —こんなときなんて言う? (新コーナー)

自分は正しいと思い、何気なく使った英語が通じなかった経験が時としてある。そんなときどんな表現がいいのか、集めてみた。表現力に幅が出てくるものばかりである(資料④)。

(5) 声に出して読みたい英文(新コーナー)

小説、名演説、聖人のことば、詩、早口ことば、金言等の中から、大きな声を出して読みたい英文を選んだ。英語の構文学習のためだけではなく、人生訓にもなり、面白くて、口調のよい人生を豊かにするものばかりである。真実は人の心を打つ。思わず独り言を言いたくなる名言ばかりである(資料⑤)。

6 文法副読本との連携

本書に対応した文法副読本として『SEED English Grammar』がある。1単位35時間を取れる場合は『32 Units』が最適である。少し余裕が欲しい場合は

『27 Units』が適している。内容を精選したい場合は『22 Units』を薦めたい。今回の『SEED 総合英語』には基本例文にすべて通し番号がつき、この番号は文法副読本の例文にもつけられているので、両者間の連携・参照が容易になっている。

7 本書の利用のヒント

本書の特徴や改訂の内容は上述したとおりである。本書の利用法を述べたい。

原則は「どこから読み始めてもよい」である。自分が重要と思う箇所、ぜひマスターしたい内容から学習すればよい。願わくば最終的には23章すべてを読み通してほしい。全体を読み、体系的に理解すれば自信がつくからである。以下のように学習を進めるとわかり易いと思う。

A 各章の導入「イメージをつかもう」はこれから学ぶ内容をスムーズに理解でき、概念がつかめるように

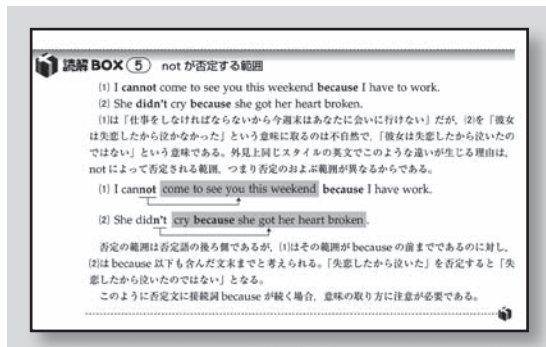
工夫してある。半分は学習の効果が上がるように考えている。

B 各セクションについては、基本例文とそれに続く説明を理解することができれば、基本的事項は十分習得したことになる。「注意」「参考」は必要に応じて参照すればよい。内容的にかなり豊富で高度なものも含まれている。

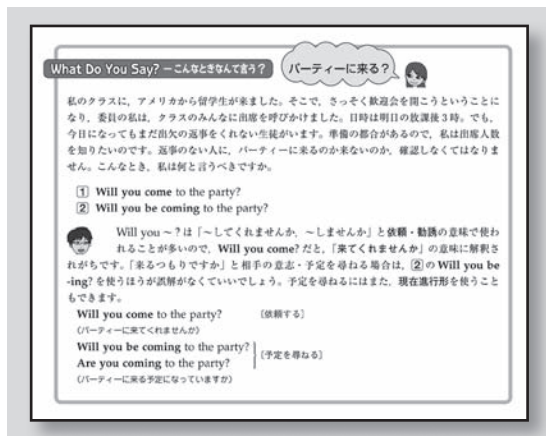
C 各セクションの終わりにはCHECK AND EXPRESSがある。これは基本的な事項の確認である。英語での表現を高める問題も含まれている。

D 基本的な事項が十分に理解できている人は、「ギモンのタネ」や「読解BOX」も読んでもらいたい。さらに「声に出して読みたい英文」も楽しんでほしい。

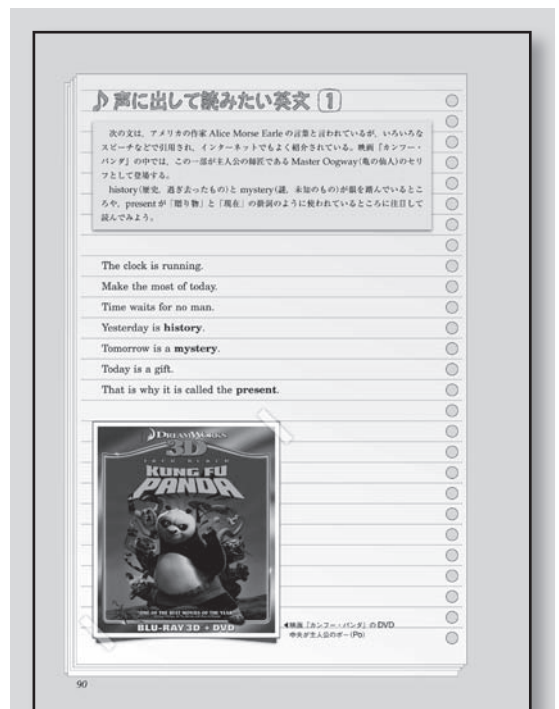
E コミュニケーション力を高めるために音声面も充実させている。英語理解後はCDやインターネットからのダウンロードでネイティブ・スピーカーの音声に接してほしい。できることならヘッドホンで聞くと、音声面の能力が研ぎ澄まされる。



資料③ 読解BOX



資料④ What Do You Say?



資料⑤ 声に出して読みたい英文